

検体の採取法

淋菌クラミジア採取方法

男性検体:尿道からの採取

●無傷の上皮細胞が多数得られるように採取してください。

- ① 排尿後、1時間以上経過してから検体採取してください。
- ② 専用の綿棒をゆっくり回転させながら尿道に2～4cm挿入し、上皮細胞を採取します。(図)

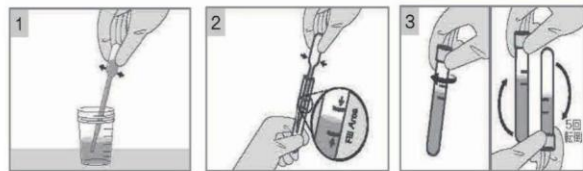


- ③ 採取セット採取キットに添付の搬送チューブのキャップをはずし、直ちにスワブをチューブ内のスワブ搬送液に入れ懸濁します。
- ④ 内容物が飛散しないように注意しながら、スワブを所定の位置で折ります。
- ⑤ 搬送用チューブのキャップをしっかりと閉め、速やかにご提出ください。

尿検体の採取

最後の排尿から少なくとも1時間以上経過後の初尿を採取してください。

- ① 滅菌済みカップに初尿約10～20mLを採取し、滅菌済みスポイトを用いて初尿を専用容器に移します。
- ② 専用容器のキャップを外し、容器に記載されている2つのライン(黒)の間に収まるように初尿を加えてください。
- ③ 専用容器のキャップをしっかりと閉めてください。
- ④ 専用容器を転倒混和して、速やかにご提出ください。

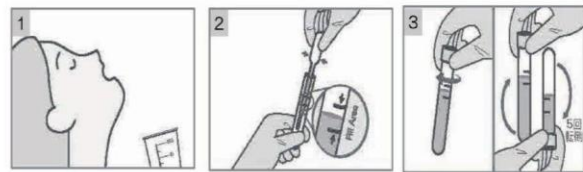


うがい液検体の採取方法(男女兼用)

検体採取前の食事・うがい・菌磨き・ガムを噛むこと等は避けてください。

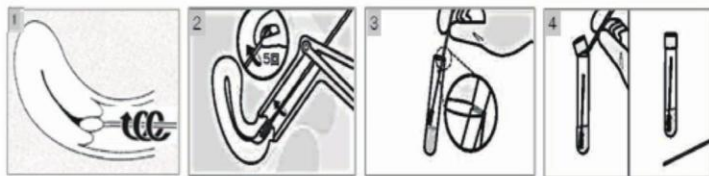
- ① 滅菌生理食塩水をカップに15～20mL入れ口に含み、顔を上に向けて10～20秒間、勢いよくうがいを行います。
- ② うがい液全量をコップに回収し、スポイトで専用容器に記載されている2つのラインの間に収まるように分取してください。
- ③ 専用容器のキャップをしっかりと閉め、5回転倒混和して、速やかにご提出してください。

(注)直接搬送容器に採取しないでください。うがい液は専用のコップに採取してから容器搬送用に所定量分取してください。



女性検体:子宮頸管分泌物検体の採取

- ① スワブ検体採取セット付属のドライスワブで子宮頸管とその周辺部の過剰な粘液を充分拭い取ります。
このスワブは廃棄します。しっかりと閉め、速やかにご提出ください。
- ② 付属のスワブ(小)を子宮頸管内に挿入します。同じ方向に5回そっとスワブを回し、細胞を採取し、腔の粘液に触れないように注意してスワブを引き抜きます。
- ③ 採取した綿棒を専用容器に入れ、速やかにご提出ください。
- ④ 内容物が飛散しないように注意しながら、スワブを所定の位置で折ります。
手元に残った折られた柄は廃棄します。
専用容器のキャップをしっかりと閉め、速やかにご提出ください。



腔擦過物検体の採取

付属のドライスワブのみを使用します。フロックスワブは使用しないでください。

- ① 片手でドライスワブの黒い線の下側の柄を持ち、腔口から5cmほど挿入します。
ドライスワブを腔壁にこすりつけるようにして時計回りに約30秒ほどゆっくりと回します。
- ② 採取した綿棒を専用容器に入れ、内容物が飛散しないように注意し、スワブを所定の位置で折ります。
- ③ 手元に残った折られた柄は廃棄します。専用容器のキャップをしっかりと閉め、速やかにご提出ください。

咽頭からの採取方法(男女兼用)

採取前に口腔内洗浄や飲食をしないようにしてください。

- ① スワブ(採取用捲綿子)で扁桃の側面部分を擦過し、擦過物を採取します。
- ② セットに添付のスワブ搬送用チューブのキャップをはずし、ただちにスワブをチューブ内のスワブ搬送液に懸濁します。
- ③ 内容物が飛散しないよう注意しながら、スワブの所定の位置で折ります。
- ④ スワブ搬送用チューブのキャップをしっかりと閉め、速やかにご提出ください。

